

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	江北町立江北小学校
1 前年度 評価結果の概要	・「学力の向上」については、引き続き学力向上評価シートを有効に活用し、普段の学習の状況や全国・県学習状況調査結果に結び付けていく。 ・「心の教育」「健康・体づくり」「地域との連携」については、コロナ禍の状況だが、限られた条件の中で取り組みを進めていく。 ・「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」の取り組みについては、テーマを決めての家族の会話が確保しながら、引き続き継続していく。
2 学校教育目標	自ら学び 心豊かに たくましく生きる江北の子の育成
3 本年度の重点目標	「子どもが学ぶ幸せ」「保護者が通わせる幸せ」「教職員が働く幸せ」を感じる江北小学校づくり ①学ぶ楽しさを感じ、自ら進んで学び合い、高まろうとする子どもの育成 ②自己肯定感を高め、個性を発揮し、相手のことを考えて行動する子どもの育成 ③健康・元気で、きまりを守り、のびのびと活動する子どもの育成

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○指導方法の改善	○「授業が分かる」「授業が楽しい」について「そう思う」「だいたいそう思う」という児童を90%以上にする。 ○算数、国語の単元末テストにおいて期待平均点以上にする。		・		・		・	少人数担当 学習部		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○互いの思いを伝え合う道徳科の授業づくりや体験活動、地域・家庭・中学校とのつながりを通して、心豊かにたくましく生きる児童を育成する。 ○正しい言葉遣いにおいて、肯定的な回答をした児童を90%以上にする。		・		・		・	道徳主任		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○早期発見、早期対応に加えて、いじめの未然防止と組織的対応に努める。 ○「認知」した場合は3か月後にすべての解消に導く。 ○いじめの防止や対応に組織的に取り組んでいる職員を90%以上にする。		・		・		・	生活部部長		
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童を80%以上にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童を80%以上にする。		・		・		・	全職員		
	○交流活動(異学年による縦割り活動)の充実 ・げんきグループを中心とした活動で、上級生は下級生に対する思いやりの心と上級生としての責任感をもたせ、下級生には上級生を敬う心を育てる。その中で協力することの大切さを味わわせる。	○げんきグループで「活動に進んで取り組んでいる。」と答えた児童を80%以上にする。 ○げんきグループで活動する楽しさを80%以上の児童が感じられるようにする。		・		・		・	特活部部長		
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●安全に関する資質・能力の育成	○早寝早起き朝ごはんの実践できる家庭を90%以上にする。 ○健康な体を作るために「健康に良い食事をしている」と回答した児童を80%以上にする。 ○交通ルールを守って生活している児童を85%以上にする。				・		・	保体部部長 生活部部長		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。		・		・		・	管理職(教頭)		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育	○特別支援教育の充実	○全ての職員が、児童の特性や困り感の原因となるものを考え、それを理解することができるように努め、よりよい手立てを考え支援する。「適切な手立てを考え支援している」と答える職員を90%以上にする。		・		・		・	特別支援コーディネーター (支援部)		
○地域との連携、幼保・小中の連携	○地域との連携の推進 ○幼保・小中連携の推進	○ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデーの全校の実施率80%以上 ○各団体との連携協議会等を年2回以上実施する。							主幹		

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------